



建設費負担割合決定まで残り3カ月 ごみ減量ラストスパーク

シリーズ「ごみ減量をいかにして成功させるか」⑤

柳川市とみやま市共同のごみ焼却施設「有明ひまわりセンター」。この施設の建設費負担額は令和4年3月から令和5年2月までの1年間の両市のごみの量で決定します。皆さんの費用負担軽減のため、残り3か月、さらにごみ減量を進めましょう。

【問】市生活環境課リサイクル推進係 (☎88・8633)



ごみを減らす4つのポイントを復習



生ごみは水を切って量をリデュース



生ごみは水を切って乾燥させるだけで簡単に量を減らすことができます。ホームセンターなどで安く買える水切りネットや水切り袋を使いましょう。また、電動生ごみ処理機の購入やレンタルを希望する人は、市生活環境課リサイクル推進係へ相談してください。



着なくなった衣類は資源物回収拠点へ



市は、衣類や毛布を再利用するため、市役所各庁舎に資源物回収拠点を設置しています。透明な袋に入れて出してください。回収した衣類は、古着屋でそのまま販売されたり、工場などで機械や製品を拭くためのぞうきんに加工されたりします。



ティッシュの箱などは雑がみとして分別



燃やすすしくないごみに含まれる紙類の割合は34%。ついごみ袋に入れてしまいがちですが、きちんと分別することで、燃やすすしくないごみの量を大きく減らすことができます。紙袋に入れて収集日に出すか、資源物回収拠点へ持ち込んでください。



草木は燃やさずリサイクルセンターへ

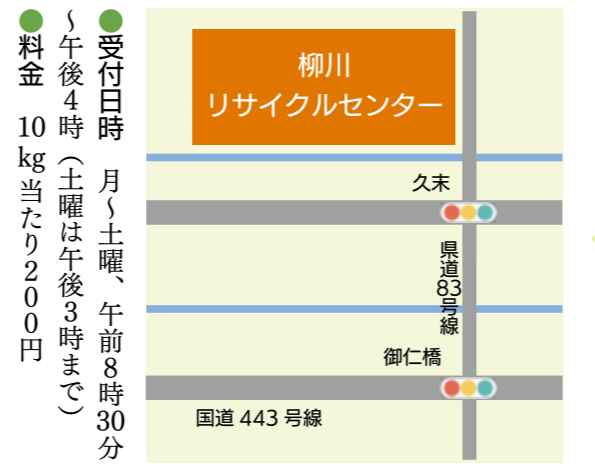


燃やすすしくないごみに含まれる草木の割合は17%。草木はたい肥や発電燃料となる資源です。庭掃除や庭木の枝切りで出た草木や枝は柳川リサイクルセンター(三橋町久末)に持ち込みましょう。袋に入れず、直接持ち込んでください。

電動生ごみ処理機を使うと、生ごみの量を減らせるだけでなく、においを減らすことができます。



市役所各庁舎に設置されている資源物回収拠点の場所はこちら



●受付日時 月・土曜、午前8時30分～午後4時(土曜は午後3時まで)
●料金 10kg当たり200円

好評貸出中 散乱防止用ごみ出しネット



カラスなどの小動物によるごみ荒らし被害や、雨風による資源物の散乱を防ぐため、市は、5世帯以上での使用を条件にごみ出し用ネットを貸し出しています。ごみ出し用ネットを使うことで、ごみ箱を持ち運ぶ必要がなくなります。貸出申請方法は市公式サイトで確認してください。



| 令和3年10月の可燃ごみの量 | |
|---|------------|
| 柳川市 1184トン | みやま市 641トン |
| 令和4年10月の可燃ごみの量 | |
| 柳川市 1157トン | みやま市 403トン |
| 10月の市内の可燃ごみの量は前年同月に比べ約2%減少。みやま市の可燃ごみの量は前年同月に比べ約37%減少しました。 | |
| 3～10月の可燃ごみの割合 | |
| 柳川市 74% | みやま市 26% |

- よくあるお問い合わせ
- Q** 布団は衣類や毛布の回収拠点に出してもいいですか?
- A** 燃やすすしくないごみとして、有明ひまわりセンター(橋本町631-7、☎75・1766)に直接持ち込んでください。
- ごみの受付日時 毎週月～金曜、午前8時30分～午後0時15分、午後1時～4時 ※月～金曜が祝日のときも受け付けます。
 - 料金 10kg当たり200円